

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公開番号】特開2004-333710(P2004-333710A)

【公開日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2004-046

【出願番号】特願2003-127508(P2003-127508)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

C 0 8 G 63/06 (2006.01)

C 0 8 G 63/685 (2006.01)

C 0 8 G 63/688 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 11/08 (2006.01)

C 1 2 P 7/62 (2006.01)

C 1 2 R 1/38 (2006.01)

C 1 2 R 1/40 (2006.01)

C 1 2 R 1/01 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 6 5

G 0 3 G 9/08 3 1 1

C 0 8 G 63/06

C 0 8 G 63/685

C 0 8 G 63/688

C 1 2 P 21/02 C

G 0 3 G 9/08 3 8 1

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 11/08 H

C 1 2 P 7/62

C 1 2 P 7/62

C 1 2 R 1:38

C 1 2 P 7/62

C 1 2 R 1:40

C 1 2 P 7/62

C 1 2 R 1:01

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月1日(2006.5.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

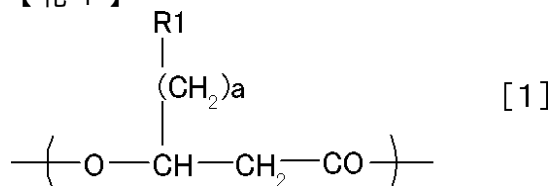
【特許請求の範囲】

【請求項1】

化学式[1]から化学式[8]に示すモノマーユニットからなる群より選択される少なくとも一つを含有するポリヒドロキシアルカノエートが基材の少なくとも一部を被覆して

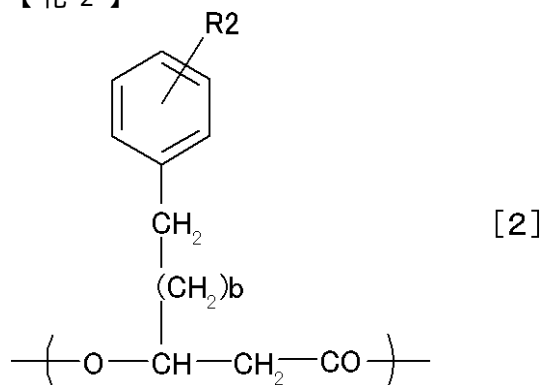
いることを特徴とする構造体。

【化 1】



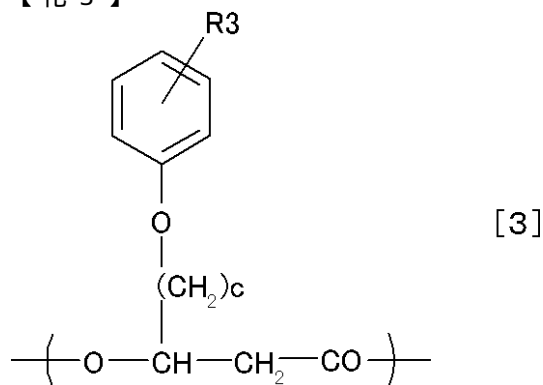
(ただし、該モノマーユニットは、式中 R 1 および a の組合せが下記のいずれかであるモノマーユニットからなる群より選択される少なくとも一つである。R 1 がビニル基であり a が 1 から 10 の整数のいずれかであるモノマーユニットである。)

【化 2】



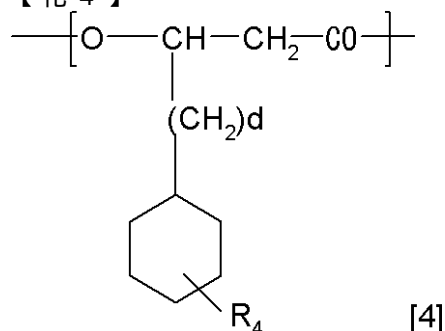
(ただし、式中 b は 0 から 7 の整数のいずれかを表し、R 2 は C H<sub>3</sub> 基、C<sub>2</sub> H<sub>5</sub> 基、C<sub>3</sub> H<sub>7</sub> 基、ビニル基、エポキシ基、C O O R 2 1 (R 2 1 : H 原子、N a 原子、K 原子のいずれかを表す) からなる群から選ばれたいずれか 1 つを表し、複数のユニットが存在する場合、各ユニット毎に独立して上記の意味を表す。)

【化 3】



(ただし、式中 c は 1 から 8 の整数のいずれかを表し、R 3 は C H<sub>3</sub> 基、C<sub>2</sub> H<sub>5</sub> 基、C<sub>3</sub> H<sub>7</sub> 基、S C H<sub>3</sub> 基からなる群から選ばれたいずれか 1 つを表し、複数のユニットが存在する場合、各ユニット毎に独立して上記の意味を表す。)

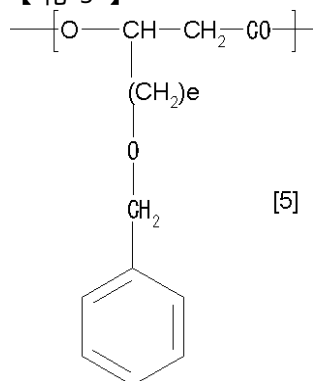
【化 4】



(ただし、式中 d は 0 から 8 の整数のいずれかを表し、R 4 は、d が 0 の場合、H 原子、

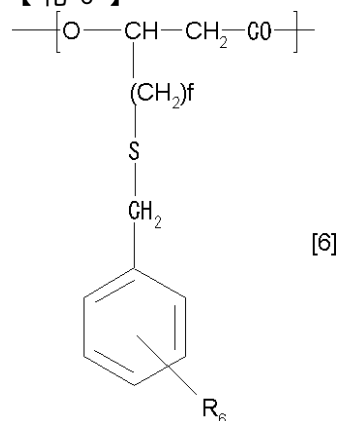
CN基、NO<sub>2</sub>基、ハロゲン原子、CH<sub>3</sub>基、C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>基、C<sub>3</sub>H<sub>7</sub>基、CF<sub>3</sub>基、C<sub>2</sub>F<sub>5</sub>基またはC<sub>3</sub>F<sub>7</sub>基からなる群から選ばれ、dが1-8の場合、CH<sub>3</sub>基、C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>基、C<sub>3</sub>H<sub>7</sub>基からなる群から選ばれたいずれか1つを表し、複数のユニットが存在する場合、各ユニット毎に独立して上記の意味を表す。)

## 【化5】



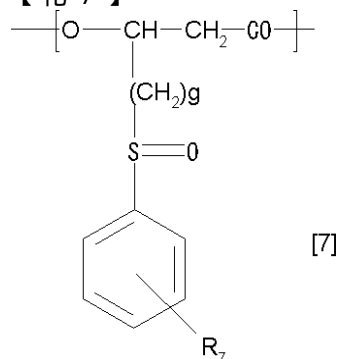
(ただし、式中eは1から8の整数のいずれかを表す。)

## 【化6】



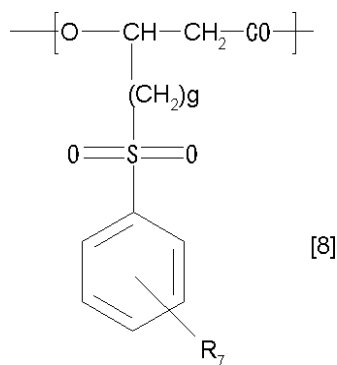
(ただし、式中fは1から8の整数のいずれかを表し、R<sub>6</sub>はCH<sub>3</sub>基、C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>基、C<sub>3</sub>H<sub>7</sub>基、(CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>-CH基または(CH<sub>3</sub>)<sub>3</sub>-C基からなる群から選ばれたいずれか1つを表し、複数のユニットが存在する場合、各ユニット毎に独立して上記の意味を表す。)

## 【化7】



(ただし、式中gは1から8の整数のいずれかを表し、R<sub>7</sub>はH原子、ハロゲン原子、CN基、NO<sub>2</sub>基、COOR<sub>71</sub>、SO<sub>2</sub>R<sub>72</sub>(R<sub>71</sub>:H、Na、K、CH<sub>3</sub>、C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>のいずれかを表し、R<sub>72</sub>:OH、ONa、OK、ハロゲン原子、OCH<sub>3</sub>、OC<sub>2</sub>H<sub>5</sub>のいずれかを表す)、CH<sub>3</sub>基、C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>基、C<sub>3</sub>H<sub>7</sub>基、(CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>-CH基または(CH<sub>3</sub>)<sub>3</sub>-C基であり、複数のユニットが存在する場合、各ユニット毎に独立して上記の意味を表す。)

## 【化8】



(ただし、式中  $g$  は 1 から 8 の整数のいずれかを表し、 $R_7$  は H 原子、ハロゲン原子、CN 基、 $NO_2$  基、 $COOR_{71}$ 、 $SO_2R_{72}$  ( $R_{71}$ : H、Na、K、 $CH_3$ 、 $C_2H_5$  のいずれかを表し、 $R_{72}$ : OH、ONa、OK、ハロゲン原子、 $OCH_3$ 、 $OC_2H_5$  のいずれかを表す)、 $CH_3$  基、 $C_2H_5$  基、 $C_3H_7$  基、 $(CH_3)_2-CH$  基または  $(CH_3)_3-C$  基であり、複数のユニットが存在する場合、各ユニット毎に独立して上記の意味を表す。)

【請求項 2】

前記ポリヒドロキシアルカノエートの少なくとも一部が、化学修飾されたポリヒドロキシアルカノエートであることを特徴とする、請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 3】

前記の化学修飾されたポリヒドロキシアルカノエートが、少なくともグラフト鎖を有するポリヒドロキシアルカノエートであることを特徴とする、請求項 2 に記載の構造体。

【請求項 4】

前記グラフト鎖が、ハロゲン原子、ビニル基、エポキシ基あるいはカルボキシル基を有するモノマーユニットの少なくとも何れかを含むポリヒドロキシアルカノエートの化学修飾によるグラフト鎖であることを特徴とする、請求項 3 に記載の構造体。

【請求項 5】

前記グラフト鎖が、チオール基、水酸基あるいはアミノ基の少なくとも何れかを有する化合物のグラフト鎖であることを特徴とする、請求項 3 または請求項 4 に記載の構造体。

【請求項 6】

前記ポリヒドロキシアルカノエートの少なくとも一部が、架橋化されたポリヒドロキシアルカノエートであることを特徴とする、請求項 2 に記載の構造体。

【請求項 7】

前記の架橋化されたポリヒドロキシアルカノエートが、ビニル基あるいはエポキシ基を有するモノマーユニットの少なくとも何れかを含むポリヒドロキシアルカノエートが架橋化されたポリヒドロキシアルカノエートであることを特徴とする、請求項 6 に記載の構造体。

【請求項 8】

前記基材が粒状体であることを特徴とする請求項 1 から請求項 7 のいずれかに記載の構造体。

【請求項 9】

前記基材が着色剤を含有していることを特徴とする、請求項 8 に記載の構造体。

【請求項 10】

前記着色剤が顔料であることを特徴とする、請求項 9 に記載の構造体。

【請求項 11】

前記着色剤が染料であることを特徴とする、請求項 9 に記載の構造体。

【請求項 12】

前記基材が顔料であることを特徴とする請求項 8 に記載の構造体。

【請求項 13】

前記基材が磁性体であることを特徴とする請求項 8 に記載の構造体。